



今号のきら星☆さん

天文グループ 渡辺喜作さん

友人に誘われS.P.Vに参加して数年になりました。観望会では、参加者がレンズを覗いたときの感嘆の声に癒されています。

天文グループは大所帯で、まだお会いしていない方も少なくありません。いつも感心してしまうのは、皆さん多才なことです。パソコンやIT機器に詳しく、カノープスの探索活動がTVで紹介された方。自作望遠鏡や惑星模型の製作などを得意とし、観望会の小道具屋さんの存在で太陽観察にも熱心な方。暁天時の資料を

作るために面白グッズを見付けてはお披露目してくれる隕石収集と天体写真が得意な方。「レンズの中の宝石箱」という写真展の開催に尽力し、全国各地の天文施設を巡り、プラネタリウムに詳しい方。子どもの質問にすらすらと解りやすく答えてくれる方。星座の物語に詳しく、楽しくお話ししてくれる方。高校生の頃より親子で参加されている方。星空案内人の講座に遠方より参加し、ソムリエの資格認定を目指す方。

紙面の都合で割愛させていただきますが、大勢の『きら星さん』が活動しています。皆様もぜひ天文ボランティアに参加してみませんか。

平成25年度

S.P.V新会員の活動の抱負



案内グループ

7月28日に、さっそく紙芝居を実演しました。数組のお客様に最後まで観て頂いたことで、少々の自信がつき、手ごたえを感じました。今後はメンバーと交流を深め、お客様にとって居心地のいい雰囲気を作っていくみたいです。

(今村亮子)



東京在住の者です。往復に時間がかかるため、午後の時間帯にしかお目にかかれませんが、どうぞよろしくお願ひ致します。

なぜこのようなことをする気になったかと言いますと、まず



科学グループ

全てはあの3.11。東大の偉い先生があなたの方は理科バカだと言った。このままでは終われない。学ぶのに遅い早いは無いはず。やる気とパワーで前へ進み、難しくても諦めず根気強く学び続ける大切さを伝えたい。

(丹野恵美子)



科学ボランティアに参加してみて…

「決して無理しないで。参加できる範囲でいいから長く楽しんでね」。入会後直ぐにいただいた先輩の言葉です。途端に肩の力が抜けました。参加者皆さんに「なんだか楽しそう」っ思つてもらえば。それなら私もできそうです。

(安達千佳)



科学館に来る子ども達を見ていると中には自分からはやろうとしない子がいます。でもやり始めると夢中になり、何かができるたり不思議なことを見つけたりするとどの顔にも素敵な笑顔が浮かびます。そんな子どもたちの笑顔が少しでも科学への興味



試行錯誤が
続きます

さっそく勉強会に参加(科学ボランティア)



よろしくお願ひします。



天文グループ

このたび天文グループに登録しました。これからの活動が楽しみです。一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

(阿部里奈子)



郡山は夫の故郷。義父母が健在の折には、子どもたちを連れてよく遊びに来た場所だからです。今はもう子どもたちは成人しております、それそれに忙しく、一緒に行動することもなくなりました。でも郡山には、子育て中の思い出が一杯あるのです。私は宇宙も大好きですし、科学情報全般にも興味がありますが、郡山の地理や歴史、言い伝え、市民の皆さんの現在の暮らしについても、教えていただけることを期待しています。

逆に私がお役に立てるとはあまりないのですが、観光客の気持ちだけはわかります。今後は、ご案内の仕事に精を出すつもりであります。

(田島加代子)

に結びついたらいいなあと思います。子どもたちが少しでも科学に興味を持つことができるようお手伝いができ、自分も一緒に学ぶことができるよう活動していきたいと思っています。

(大越幸子)



出張S.P.Vに初めての参加。開始直後より親子ともに夢中になりました、出来ない子に少しのアドバイスで完成!喜びのあまり、大きな声で「できたあー!!」

この歓声で嬉しく幸せな気分になり、この感覚を味わいたく次回の参加も楽しみになりました。

(五島邦夫・ナヲ子)



3月11日東日本大震災を受けてあたりまえのことが出来なくなってしまいました。でも、たくさんの方が復興に向け頑張っていて、今回の震災を機に人との関わりというがこんなにすばらしい事なんだなどあらためて思い知らされました。私も、ボランティア活動を通じて色々学んでいきたいと思います。

(岩野里穂)

科学グループ活動報告

サイエンスフェスティバル 活動報告

7/20~21・8/10~15 開催



船にためこんだ空気を吐き出しながら鳴るのがブーブー笛。出来上がってみると、隣で作っていた家族やお友達の作品と音が違うことに、お子さん達も気が付きます。間の抜けたような鳴き声に、思わずその場にいたみんなで爆笑してしまったり! 同じ材料で同時に作っているのに、どうして違う鳴き声なのでしょうね?

ちなみに、持ち手に羽を付けてあげたら、あの流氷の天使のごとく空中をフワフワする「ブーブークリオネ」に早変わりしたりもします。工作カウンターで作った物をいろいろ改造して

みるのも面白いですよ♪

(山田善貴)

夏休みに合わせ、展示ゾーンで開かれる科学のお祭り“サイエンスフェスティバル”。科学グループでも、この催しに合わせて特別なメニューを用意しました。その名も『ブーブー笛』!名前の通り、高らかにブーブー鳴いてくれるとても賑やかな工作です。

ストローを斜めにカットし、プラスチック製のリード(ふるえて音が鳴る部品)を取り付けます。このカットと取り付け方がこの工作最大の山場で、大人が作ってもなかなかすんなりとは音が鳴りません。保護者やボランティアも一緒になり、音が鳴るよう微調整微調整…。完成してしまうと見えなくなってしまうのですが、音が鳴ってるときはリードが細かく震えていることが、正に目と鼻の先で見て取れます(科学工作として要チェック!)

さて、無事に“笛”としてのテストに合格したら風船の取付です。風

みかん色の制服とボランティアのカードを身につけ、カウンターへ。今日作る材料を揃えて準備OK!「今日はどんな子ども達と出会えるかな」という期待感で心身がシャキッとする。やがて、特有の雰囲気を漂わせながら子ども達がやってくる。「ここは何をしているの?おもしろそう!作ってみる!」という声が聞ければ、しめたもの。作り方を聞き、時に励ましの言葉を受けながら製作に取り組む子ども達。その姿は真剣で、小さな科学者の卵そのものだ。満足げに立ち去る姿を見るのが楽しい。「できた。やったね。またいらっしゃいね」。

私たち科学ボランティア一同この活動に取り組んでいます。ご参加、ご協力ください。待っています。

(國分正子)

その他出張活動報告



2013/7/21

自主勉強会「環境汚染と遺伝子」

環境ホルモン問題の実体や生命の根幹であるセントラルドグマ、性を決定するメカニズム、これらの関連性についてゆっくりと学びました。



2013/7/7

薫地域公民館「親子ふれあい教室」

新会員全員を含め、科学ボランティア9名で開催しました。工作は風船ロケット、しゃぼん花、タネの実験、タングラム。それぞれ原理や理論、解説を交えながら、ゆっくり2時間かけて行いました。子どもたちだけでなく大人たちの興味も引き出しながら行いました。



「タングラム発展編」

このところ取り組んでいる幾何学パズル・タングラムについて、いくつかの未解決問題に取り組みました。